

### ③ マルハマ食品 株式会社 (島根県浜田市周布町)

(代表者) 代表取締役 濱崎 修司  
 (資本金) 3,800万円  
 (設立) 1962年1月  
 (事業内容) 醤油・つゆ・ドレッシング・たれ類の製造、  
 風味調味料(鰹風味だしの素・いりこ風味  
 だしの素)の製造 各種具材の小袋包装、  
 各種液体の小袋包装 各種レトルトパウチ  
 食品の製造 各種食品のセットアップ(ピロー包装・カートニング)  
 ※ <https://www.maruhamafoods.co.jp/>



マルハマ食品様は、平成30年度本事業にご参加いただき、ご担当だった三賀森課長は、その頃から積極的に視察や研修に社員の方と一緒に参加していただきました。

“社内改革”をはじめた当時、資金面等々頭の痛いこともあったそうですが、濱崎社長の「リストラはしない！地元の雇用を守る」の言葉とその想いを守り、三賀森課長は先頭に立ってたくさんのお取り組みを実践して来られました。

まず、最初に取り組みしたのは職場環境の改善です。それまで、工場は窓を閉め切っているため、夏場は暑さで汗だく。毎日インナーを何枚も着替えることが社員のみなさんは当たり前だと思っておられたようです。しかし、衛生面や社員の健康を考え「この状態はよくない！」と巨額の資金を投じて冷暖房を完備。そのお陰で工場内は快適となり、今はシャツを変えなくてもよくなったそうです。



その後、雇用条件を次々と見直して来られました。賃金UPをはじめ手当金の充実、適材適所への登用や昇格により、社員のモチベーションもUPしました。また、個々の事情に合わせて様々な勤務時間が選択できるよう配慮され、女性も働きやすくなりました。

組織改革も行われ、60歳(定年)以上の管理職者は職を返上し、若い人達の指導に回ることで、若手や中堅社員が中心となる組織体制

へと変わったそうです。「役職も世代交代が必要」という言葉が印象に残りました。

こちらの会社では社員の教育にも力を入れておられ、年間 12 回 外部講師を招いてセミナーを開催し、外部研修にも積極的に参加するよう推奨されています。もちろん資格取得へのサポートもされていますよ。

そんな中、私が驚いたのは福利厚生です。金融機関等とタイアップした独自の「職場積み立てNISA」と「漁火共済」です。

これらは、会社が半分資金援助してくださるそうで、今まで視察等でお邪魔した企業でも例がなかったように思います。個人で積み立てNISA をしている人にとってはうらやましいお話でした。

工場内を見学した後は、濱崎社長をはじめ社員の方々と交えてディスカッションが行われました。



商品開発部門では、若い社員の方がホームページ内の新しい試み“おすすめレシピ”を担当。新しいこと、やりがいのある仕事を任せることで若い社員のみなさまがいきいきと働いていらっしゃるようでした。また、採用時には親同伴の見学会を行うことでミスマッチを防ぎ、親も社員自身も安心して入社

してもらえたことが功を奏し、離職率は大幅に低下したそうです！

その他、専門家によるライフプランニングセミナー、キャリアコンサルティング、メンタルヘルス等々の実施、健康経営を目指して社員の心と身体の健康づくりを推進しておられます。また、障がい者や外国人技能実習生を積極的に受け入れ、実習生の寮も完備するなど、誰もが働きやすく、働き続けることのできる職場づくりに取り組んでおられます。

そして、さらなる“魅力ある職場づくり”のため、次のステップとして、『治療と仕事の両立支援』の制度化に向けて現在奮闘中！とのことでした。

マルハマ食品様は現在創業 88 年。これからも「企業努力を怠らず、労使一体となって 100 年企業を目指します！」と力強いお言葉がありました。



こちらの会社では社長室はなく、濱崎社長は常に工場に足を運んでいらっしゃるようです。言葉数は決して多くありませんが、穏やかで優しい口調からは、地元愛と社員のみなさんへの想いが伝わりました。

すべては「社員の幸せ」のために・・・。

